

今月号の特集は「信頼性評価」でした。「信頼性」とは「どれだけ信じて頼ることができるか」という意味と言えますが、さまざまな使い方がされます。最も身近なのは、天気予報かもしれません。気象庁や気象予報会社から発表される天気予報は、毎日世間から信頼性を評価されているようなものです。

一方で、昨年の東日本大震災における原発事故以来、「信頼性」という言葉は、「安全性」と絡めてマスコミで頻繁に議論さ

れるようになりました。耐震性、保安システム、リスク管理など、あらゆることが議論の対象となります。これらの観点は、多くが鉄道と共通です。大事故が発生した際に、本当の信頼性が議論されることでは遅く、平常通り運転できている時こそ慎重に評価する必要があります。安全運行を維持していくため、多角的に信頼性の向上に取り組んでいることがご理解いただけると幸いです。(K.Y.)

## ■7月号の訂正とお詫び

RRR誌2012年7月号の『リサーチ・ダイジェスト』のなかに誤植がございました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

箇所	誤	正
p.37上欄のタイトル	北陸新幹線50/60Hzき電共用区間対応DS-ATCの開発	北陸新幹線50/60Hzき電画用区間対応DS-ATCの開発